

自尊心と承認欲求が大学生の恋人へのプレゼントの消費行動に与える影響

鈴木遥加 土師愛美 金正雄 井上寛規

2017 年 2 月 6 日

概要

本研究では、大学生が恋人へプレゼントを贈る際の行動パターンを説明する世界観として、自尊心や承認欲求があるのではないかという考えから、自尊心と承認欲求はプレゼントにかかる費用や手間に正の影響を与えるという仮説のもとで、大学生を対象にアンケート調査を実施した。また、自尊心と承認欲求の与える影響が地域や文化によって異なる可能性があるとして、同様のアンケート調査を日本、アメリカ、韓国の3か国の国民を対象に行った。本研究によって、日本と韓国の大学生における承認欲求と自尊心が与えるプレゼントの消費行動への影響は同じだが、アメリカの大学生における影響は異なることが分かった。日本と韓国の場合、自尊心が高い人のみ承認欲求がプレゼントの手間に正の影響を与えるという結果になった。アメリカの場合、自尊心の強弱に関係なくすべての人の承認欲求がプレゼントの手間に正の影響を与えるという結果になった。このことから、プレゼントを贈るといふ利他的な行動の中に、自身の承認欲求を満たすという利己的な要素が含まれていることが分かり、プレゼントを通じて行われる非言語的コミュニケーションの理解を深めることができた。

序文

本研究を行うにあたって、我々は大学生にとって身近なテーマである恋人へのプレゼントについて大学生ならではの観点から世界観という概念を用いて説明することを目標にした。大学生になると多くの方はアルバイトなど通じてある程度の所得を持つようになり、自由に消費活動が行えるようになる。その中で恋人へプレゼントを贈る人も多いが、プレゼントにかかる額や時間などの手間には大きな個人差があることに我々は注目した。また恋愛において、自身の自尊心や承認欲求といったものがその人の思考や行動に影響を与えることがあるため、それがプレゼントを贈るといふ経済行動にも反映されているのではないかと我々は考えた。これらのことから、本研究では自尊心と承認欲求が大学生の恋人へのプレゼントの消費行動に与える影響をテーマにすることに決定した。また、本研究グループにはアメリカ人や韓国人も所属していることから、この仮説が日本以外の文化地域でも当てはまるのかを検証するために、アメリカと韓国の大学生を対象に同じアンケートを実施し、結果

を比較することを決定した。

先行研究

橋本 (2006)では、自尊心が自分の置かれている環境への適応の度合いを示し、思春期の行動に大きな影響を与えることが分かった。恋愛行動にも影響があるのではと考え、本研究へ移る。

鈴木・小川 (2007)では、恋愛観は過去の経験や本人の性格によって形成された、自尊心に大きく影響されることが分かった。自尊心という世界観が経験や性格によって異なるなら、文化差が存在する可能性が考えられ、本研究にて検証した。

自尊心は自分自身の評価だが、承認欲求は他人からの評価をどの程度求めるかを示すため、自尊心に加え承認欲求も恋愛行動に影響を与えるのではと考え、本研究に含むことを決定した。

研究方法

アンケート・・・SNS を通じて日本、アメリカ、韓国に住む大学生を対象に Google Forms で作成したアンケートを拡散した。

質問項目： ・今の自分の外見を評価するなら ・今の自分の性格を評価するなら ・今の自分の知性を評価するなら ・自分の周りの友人と比べて優れている部分は多いか ・自分は周りの役に立っていると感じる ・自分自身、今の自分に満足している ・自分の好きなのところが嫌いなのところより多く思い浮かぶ ・労いの言葉や感謝の言葉をかけられると、もっとやる気を感じる ・寂しがりやだ ・嫌がるのが怖い ・SNS で投稿でいいねの数が気になる ・自分のことを必要としてくれる人の存在に強い生きがいを感じる ・友人、家族、恋人に認められたくてついつい無理をしてしまう ・いいことや頑張ったことを褒めてもらいたくて周囲の人に話すか ・恋人にプレゼントする時、平均いくら払いますか ・所得はいくらか？ (月の収入) ・プレゼントを選ぶとき、周囲の人にどのくらい相談しますか ・プレゼントで周りの友人に協力してもらったことがあるか ・プレゼントを選ぶとき店・サイト訪問のリサーチをいつから ・プレゼントを選ぶとき店・サイトなどのリサーチにどれくらい時間をかけるか 手紙・メッセージを添えますか？ ・ラッピング・演出にどれくらいこだわりますか

集計・・・得た回答を Microsoft Excel にて集計 対象・・・大学生 199名 (日本：80名、アメリカ人：40名、韓国人：79名)

1 番項目から 14 番項目まで二者択一の方法で集計する。1～7 番の結果が自尊心を測る項目で自尊心ありを 1 に、なしを 0 にして合算する。8～14 番の結果が承認欲求を測る項目で承認欲求ありを 1 に、なしを 0 にして合算する。恋人へのプレゼントの値は自分の所得に対するプレゼント代とプレゼントにかかる時間・手間を加えて合算する。(15 番/16 番) $\times 10$ の値をプレゼントにかかる費用・17 番～21 番の項目に点数をつけた値を手間として加えたものを従属変数として扱う。ここで承認欲求を X_i にする。標本の自尊心の値を平均した値を基準として高い方を 1 に、低い方を 0 に置いてダミー変数 D_i にする。承認欲求と自尊心をかけた値を $X_i D_i$ にして右辺の独立変数としてとる。3 つの独立変数の組み合わせで出てくるモデルを設定する。

モデル① $Y = a + bX_i + cD_i + dX_i D_i$

モデル② $Y = a + bX_i + cD_i$

モデル③ $Y = a + bX_i + dX_i D_i$

モデル④ $Y = a + bX_i$

モデル⑤ $Y = a + dX_i D_i$

※ X_i = 承認欲求, D_i = 自尊心, Y = プレゼント代

このモデルの中で 傾きの係数の P 値が 0.10 以下のものが一つはあるモデルだけを選択可能なモデルとして、その中から、Adjusted R^2 が最も高いモデルを選択する。例えば、モデル①ならば b c d の係数の P 値のうち、一番小さい P 値が 0.10 より大きければ選択可能とせず、モデル④ならば b の係数の P 値が 0.10 より大きければ選択可能としない、

研究結果と考察

日本の場合:モデル①から⑤の傾き係数の P 値に 0.10 以下のものがあるモデルの中から Adjusted R^2 が最も高いモデルを選択した結果、モデル⑤ ($Y=a + dX_i D_i$) を採択した。モデル⑤が意味することは、プレゼントにかかる費用と 手間を決定する要因として、自尊心が高い人の場合のみ、承認欲求の強弱が挙げられるということだ。自尊心の有無をダミー変数とし、自尊心の高い人にダミー変数 1 を与えた際の 承認欲求の強弱が、プレゼントにかかる費用と手間に正の影響を与えるという、有意な結果 が出たと言える。

係数	P 値
a (切片)	0.04639*
b X_i	0.09160*
c D_i	0.0027770**

韓国の場合: 日本と同様に、モデル⑤の Adjusted R^2 が最も高いことから、自尊心の高い人のみ承認欲求がプレゼントにかかる費用と手間に正の影響を与えるという、有意な結果が出たと言える。

係数	P 値
a	1.136x10 ⁻¹⁸
bXi	0.02606
cDi	0.03568

アメリカの場合：上記と同様のアプローチで分析した結果、モデル④ ($Y=a+bXi$)の Adjusted R² が最も高いことから、プレゼントにかかる費用と手間は、贈り手の自尊心に関わらず承認欲求の強弱によって決定されるということがわかった。承認欲求の強い人ほど、より費用と手間のかかったプレゼントを贈るという有意な結果が出たと言える。

係数	P 値
a (切片)	0.000149***
bXi	0.01712*
cDi	0.1077
DXiDi	0.08578*

結論

日本人の場合、自尊心の高い人にも、承認欲求の強さがプレゼントにかかる費用と手間に正の影響を与える。韓国人の場合、自尊心の高い人の方が低い人よりも承認欲求の強さがプレゼントにかかる費用と手間により強い正の影響を与える。アメリカ人の場合、自尊心に関わらず、承認欲求の強さがプレゼントにかかる費用と手間に正の影響を与える。共通点として、三カ国とも承認欲求がプレゼントの消費行動に正の影響を与えていると言える。プレゼント代は、自分の見栄を張りたいため、自尊心が高い人の方がプレゼント代が高くなる一方、自尊心が低いと、こだわらないためにプレゼント代が低くなると思われる。また、承認欲求が高い人の方が、相手に認めてもらいためにプレゼント代が高くなる一方、承認欲求が低いと、相手への思いやりが薄れるため、プレゼント代が低くなる。

国による結果を考察してみると、まず日本の場合、単一民族の島国国家であるため、集団意識が強く、承認欲求が強い影響を与える。出る杭は打たれるという文化から、自信を持って行動することが少なく、自尊心が低い。そのため自尊心が低いと、プレゼント代も無難な値段になる。アメリカを考察してみると、個人のあり方や生き方の自由を尊重する文化から、アメリカの人々は平均的に自尊心が高い結果である。自由な風習から、自分と他者は別々のものであり、自身の評価と他人からの評価は互いに独立であり、影響を与えない。そのため自尊心に左右されることなく、相手に評価されたいという承認欲求を抱けば素敵なプレゼントを贈って好いてもらおうとする傾向にある。韓国の考察としては、単一民族の国家であり、歴史を重視する民族であることから自分のアイデンティティが強く、それを発揮するための意識が高い。個性重視の社会で自分に対する自尊心や承認欲求が人によって異なる。国の急速な発展により、自分を見せる手段としてお金を選好する傾向がある。

総合的に言うと、日本、アメリカ、韓国の間では、自尊心の与える影響が異なるため、自尊心のあり方の傾向に文化差が存在すると言える。そして文化差の視点から考えてみると、日米韓で自尊心の分布が異なり、日本人は比較的自尊心が低い傾向にある。また、日本と韓国は自尊心の有無が承認欲求とプレゼント消費行動の関係に影響を与えるが、アメリカは与えない。そして日韓で類似した結果になり、アメリカとは大きく異なることから、東洋と西洋で考え方が異なることがわかる。

引用文献

付録・質問票

1. 今の自分の外見を評価するなら

悪い

1

2

良い

2. 今の自分の性格を評価するなら

悪い

1

2

良い

3. 今の自分の知性を評価するなら

無知

1

2

博識

4. 自分の周りの友人と比べて優れている部分は多いか

少ない

1

2

多い

5. 自分は周りの役に立っていると感じる

全く感じない

1

2

とても感じる

6。自分自身、今の自分に満足している

全くしていない

1

2

とても満足している

7。自分の好きところが嫌いなところより多く思い浮かぶ

no

1

2

yes

8。寂しがり屋だ

はい

1

2

いいえ

9。嫌われるのが怖い

はい

1

2

いいえ

10。労いの言葉や感謝の言葉をかけられると、もっとやる気を感じる

一切感じない

1

2

とても感じる

11。SNSで投稿でいいねの数が気になる

全然気にならない

1

2

とても気になる

1 2。自分のことを必要としてくれる人の存在に強い生きがいを感じる
全く感じない

1

2

とても感じる

1 3。自分の存在意義は周りによって左右される
いいえ

1

2

はい

1 4。友人、家族、恋人に認められたくてついつい無理をしてしまう
しない

1

2

する

1 5。恋人にプレゼントする時、一回（誕生日・クリスマス）に平均いくら使いますか？単位：円

数字で教えてください（例：6000 or 10000）

1 6。いいことや頑張ったことを褒めてもらいたくて周囲の人に話すか
全く話さない

1

2

よく話す

1 7。平均月の所得はいくらか？（単位：円）
仕送りなどを含めて！

18。プレゼントを選ぶとき、周囲の人にどのくらい相談しますか

しない

1～2人

3～5人

5人以上

19。プレゼントで周りの友人に協力してもらったことがあるか

ある

ない

20。プレゼントを選ぶとき店・サイト訪問のリサーチをいつから

当日

前日～3日前

4日～1週間前

1～2週間前

3週間～1か月前

1カ月以上前

21。プレゼントを選ぶとき店・サイトなどのリサーチにどれくらい時間をかけるか

1時間未満

2～3時間未満

4～6時間

7時間以上

22。手紙・メッセージを添えますか

はい

いいえ

23。ラッピング・演出にどれくらいこだわりますか？

全くこだわらない

1

2

3

4

5

とてもこだわる

引用文献

橋本耕平 (2006) 「大学生の恋愛観と影響する諸要因」 文教大学情報学部 社会調査ゼミナール研究報告

鈴木 真吾・小川 俊樹 (2007) 「自尊心と被受容感による思春期の適応理解の検討—社会的スキルとの関連から—」 *Tsukuba Psychological Research* 34, 91-99.